

主要経済指標等 (2014年)

●人口	3,392万人
●GN I 総額	1,028.04億ドル
●GN I 一人あたり	2,980ドル
●経済成長率	2.6%
●失業率 (2013年)	9.2%
●対外債務残高 (2013年)	392.61億ドル
●援助受取総額 (支出純額) (2013年)	19.66億ドル
●D A C 分類	低所得国
●世界銀行分類	iii / 低所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対モロッコ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2010 年度	—	6.72	8.02(7.87)
2011 年度	234.21	3.67	9.56(9.13)
2012 年度	107.90	6.35	7.48(7.03)
2013 年度	88.99	0.14	9.83(9.34)
2014 年度	—	0.30	10.40
累 計	2,899.00	350.33	366.44(360.14)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDG s) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標 1 : 1 日 1.25 ドル未満で生活する人々の割合	2.5%(1990)	2.6%(2007)
●目標 2 : 初等教育における純就学率	55.3%(1990)	98.8%(2014)
●目標 3 : 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を 1 とした時の女子の人数)	0.68人(1990)	0.95人(2014)
●目標 4 : 5 歳未満児の死亡数 (1,000 人あたり)	80.7人(1990)	30.4人(2013)
●目標 5 : 妊産婦の死亡数 (出生児 10 万人あたり)	310人(1990)	120人(2013)
●目標 6 : 15~49 歳の HIV 感染率 (100 人あたりの年間新規感染者数の推定値)	0.01%(2001)	0.02%(2013)
●目標 7 : 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	72.6%(1990)	85.4%(2015)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

主要ドナーの対モロッコ経済協力実績 (2013 年)

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

1 位 フランス	876.48	2 位 米国	276.52	3 位 日本	138.05	4 位 ドイツ	121.41	5 位 スペイン	41.22
----------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	----------	-------

出典) OECD/DAC

モロッコに対する我が国ODA概要

1. 概要

モロッコに対する経済協力は、1967 年に青年海外協力隊 (JOCV) の派遣を開始して以来、無償資金協力では 1979 年度以降、農水産、地方開発、道路建設・保守、母子保健などの分野で、円借款では、都市・地方インフラ、上下水道の分野を中心に、直近では治安対策や水産セクターへの支援を実施している。また、研修や専門家派遣、技プロ、第三国研修の技術協力を実施してきている。

2. 意義

モロッコは水産資源の重要な供給国であり、リン鉱石の主要産出国であることから、同国への支援は、我が国の資源確保の観点からも意義が大きい。また、同国が抱える若年層の高い失業率や地域的・社会的格差といった問題への取組を支援することで、同国のバランスのとれた発展と中東・北アフリカ地域への安定化に貢献する。

3. 基本方針

バランスの取れた発展と中東・北アフリカ地域の安定化への貢献: 地域的・社会的格差の是正の取組を支援するとともに、安定的な経済運営に基づいた持続的な経済成長の実現を支援する。

4. 重点分野

- (1) 経済競争力の強化・持続的な経済成長: インフラ整備、人材育成、農水産業の振興により雇用創出や産業育成を促すと同時に、持続的な経済成長を支援する。
- (2) 地域的・社会的格差の是正: 地方農村部を対象とした、教育や保健分野などの社会開発を支援するとともに、水資源分野などに関連する生活基盤整備を支援する。
- (3) 南南協力の促進: 歴史的、言語的に密接なつながりを持つ仏語圏サブサハラ・アフリカ諸国の発展に共同で取り組むパートナーとしての関係を強化するとともに、第三国支援等を行う。

※注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2010年~2013年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2014年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。

() 内はJICAが実施している技術協力の実績及び累計となっている。

モロッコ

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2012 年度	107.90 億円 ・下水道整備計画 (III) (107.90)	6.35 億円 ・ノン・プロジェクト無償(2 件) (6.00) ・草の根・人間の安全保障無償(4 件) (0.35)	
2013 年度	88.99 億円 ・基礎教育セクター支援計画 (88.99)	0.14 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(2 件) (0.14)	
2014 年度	な し	0.30 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(3 件) (0.30)	・公平な教育振興プロジェクト [14.09～18.09] ・エルラシディア県地域開発能力向上プロジェクト [14.10～18.03] ・仏語圏アフリカ水産人材育成プロジェクト [15.03～18.03]
2014 年度 までの累計	2,899.00 億円	350.33 億円	366.44 億円(360.14 億円) 研修員受入 1,601 人 専門家派遣 565 人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2012 年度以降に開始され 2014 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対モロッコ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2010 年	102.78	8.23	10.15	121.16
2011 年	18.21	1.74	10.60	30.55
2012 年	55.88	9.07	11.47	76.42
2013 年	60.75	6.93	9.08	76.75
2014 年	14.94	1.09	11.28	27.30
累 計	1,030.49	292.80	330.59	1,653.92

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。
2. 有償資金協力及び無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、モロッコ側の返済金額を差し引いた金額）。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁及び地方自治体による技術協力を含む。

表-4 主要ドナーの対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2009 年	フランス 382.89	スペイン 220.04	ドイツ 139.78	日本 138.67	米国 56.53	138.67	1,014.04
2010 年	フランス 390.83	日本 174.77	スペイン 119.80	ドイツ 105.47	米国 71.85	174.77	916.99
2011 年	フランス 629.50	米国 174.21	ドイツ 119.33	日本 99.02	スペイン 62.37	99.02	1,159.83
2012 年	フランス 666.76	米国 187.64	日本 146.49	ドイツ 85.78	ポルトガル 58.24	146.49	1,240.95
2013 年	フランス 876.48	米国 276.52	日本 138.05	ドイツ 121.41	スペイン 41.22	138.05	1,504.55

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2009 年	EU Institutions 282.39	AFESD 87.20	OFID 9.02	GFATM 5.77	GEF 4.70	12.64	401.72
2010 年	EU Institutions 223.44	AFESD 218.16	GEF 9.81	OFID 9.40	GFATM 6.38	13.11	480.30
2011 年	EU Institutions 419.26	AFESD 210.57	OFID 19.74	Isl.Dev Bank 11.06	IFAD 10.99	17.06	688.68
2012 年	EU Institutions 505.74	AFESD 193.37	OFID 12.04	GFATM 7.27	IFAD 4.16	11.06	733.64
2013 年	EU Institutions 616.47	AFESD 205.31	CIF 79.47	Isl.Dev Bank 7.61	IFAD 6.95	19.26	935.07

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2014 年度実施協力準備調査案件

案 件 名	協 力 期 間
国鉄輸送力増強事業 (IV) 準備調査	13.11~15. 2
貝類養殖技術研究センター建設計画準備調査	14. 1~14.10
サボテン付加価値向上事業準備調査 (BOP ビジネス連携促進)	14. 4~16. 6

出典) JICA

表-7 2014 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
シディ・エル・マクフィ村オリーブ・オイル製造所建設計画
シディ・カセム県病院乳がん検診機材整備計画
ティヌリル市イシュマリン集落農業用水路改修計画

主なプロジェクト所在図（2012年度―2014年度）

アルジェリア、チュニジア、モロッコ、リビア

